

学校運営の基本方針等について

【令和８年度教育指導の重点及び学校経営計画】

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域と連携・協働した学びを推進する連携型中高一貫教育を行う高校として 総合学科の特長を活かした協働的で探究的な学びを通して 郷土を愛し自他を尊重する心と、自ら学び夢に向かう力の育成を目指す学校	
学校教育目標 (教育方針)	１ 「英知」「創造」「友愛」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成する。 ２ 生徒一人一人の個性と能力を伸長し、主体的に行動できる人材を育成する。 ３ 高い志と広い視野をもち、地域や社会の発展に貢献できる人材を育成する。	
３つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【ＧＰ】	・基本的生活習慣を身に付け、自他を尊重し、様々な課題に対して諦めず粘り強く取り組む生徒 ・職業の意義について理解し、夢や希望を実現しようとする態度などを備えた、望ましい職業観・勤労観を身に付けた生徒 ・自分自身に自信と誇りをもち、地域や社会をより良くするために主体的に行動する生徒
	生徒をどう 育てるか 【ＣＰ】	・連携型中高一貫教育を行うことで、地域と連携した教育の推進 ・生徒一人一人がもつ多様な進路希望が実現できるよう、「基礎・基本的な学習内容」と「各系列の専門的な学習内容」を身に付けるための創意と系統性ある教育課程の編成 ・生徒一人一人が社会的・職業的に自立できるよう、「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」の授業を中心とした協働的で探究的な学びとキャリア教育の推進 ・生徒一人一人が自己の存在感を実感できるよう、教育活動全体を通じて、それぞれの生徒が活躍し主役となれる機会の提供
	どんな生徒を 待っているか 【ＡＰ】	・本校の教育を理解し、自分の「夢」を叶えるための目標や可能性に果敢に挑戦しようとする意欲ある生徒 ・向上心をもち、多様性を尊重し、仲間と協働しながら主体的に多くのことを学ぼうとする意欲ある生徒 ・部活動や生徒会活動、地域活動などに積極的に参加し、より良い学校や地域を自らの手で創ろうとする意欲ある生徒
学校の抱える課題	・自ら進んで学び、進路実現を果たそうとする意欲を高めること ・ＩＣＴ機器を活用した個別最適化された学びを研究し、実践すること ・「総合的な探究の時間」と「産業社会と人間」をリンクさせ、指導内容や指導体制を更新しながら、探究的な深い学びを実践していくこと ・スクールカウンセラーや関係機関との連携を充実させ、効果的な職員研修を実施し、多様な生徒に対して全職員で組織的に対応し、生徒の成長に適切な支援を行うこと ・本校の取組やその成果を広報し、地域の方々に魅力を伝えるとともに、さらに魅力ある学校にするために具体策に着手すること	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	指導の方法や内容や手段、評価方法等を工夫し、進路実現につながる確かな学力や意欲の向上を図ること
	生徒指導	校内外での活動を通じて、自他尊重の心を育み、自己肯定感や自己有用感を高め、自己実現できる力を涵養すること
	教員研修	学習指導でのＩＣＴ機器の活用、教育相談活動、進路支援等について資質向上を図り、校務の効率化によって、生徒一人一人の成長を適切に支援ができるようになること
	学校経営	身近な地域社会から広く社会へと主体的に関わり行動しようとする意欲を育むために、「地域で、地域と、地域を学ぶ」という地域と連携した学びを充実させること
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	出退勤管理システム等を活用した適切な労務管理を行うとともに、勤務時間制度を活用した柔軟な働き方を推進する。また、早く家庭に帰る日（８のつく日）の退勤時間を徹底するとともに、管理職が全ての教職員の退勤を促した上、退勤状況を確認する。教職員の心身の健康を保つために、勤務中の休憩時間の確保はもちろんのこと、教職員の年休や特休の取得状況を把握し、取得日数の少ない教職員に対して計画的な取得を促す。	

年 度 目 標				年 度 末 評 価（自 己 評 価）			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	個々の生徒が充実した学びができるよう、教育課程や少人数授業、学力支援講座等の取組を充実させ、より良いものにしていきます。	施策Ⅱ-8	・授業評価 ・学校評価アンケート				
	努力目標を明確化して学ぶ意欲を高められるよう、観点別評価を適切に実施します。	施策Ⅱ-8	・授業評価 ・学校評価アンケート				
	個別最適な学びの一層の充実を図るため、ＩＣＴ機器を効率的に活用します	施策Ⅱ-9	・授業評価 ・ICTに関するアンケート				
	身近な社会への関心が、広い社会への関心、そして自己の将来像へとつながるよう、「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を中心とした探究的かつ教科横断的な深い学びを充実します。	施策Ⅰ-4	・授業評価 ・学校評価アンケート				
生徒指導	生徒一人一人の将来を見据えて指導し、個々の資質や可能性を伸ばすきめ細かい支援を行い、自己の魅力を将来へつなげられるよう指導を行います。	施策Ⅰ-1	・学校評価アンケート				
	公共心と公德心、自他を尊重する心を醸成できるよう、日ごろから見逃さない指導と、通信等による啓発を行います。	施策Ⅰ-2	・居心地度調査分析				
	生徒一人一人に寄り添った支援ができるよう、各種調査を適切に行うとともに教育相談活動を充実します。	施策Ⅰ-3	・心のアンケートやいじめアンケート				
	部活動、生徒会活動、学校行事、資格取得など、生徒一人一人が主人公となれる機会を提供します。今後の部活動を含めた特別活動のあり方を探るための情報収集に努めます。	施策Ⅳ-24	・積極的な参加状況と大会や検定試験での結果				
教員研修	生徒理解を図るため、スクールカウンセラーや関係組織と連携した職員研修を充実させ、組織の体制を強化します。	施策Ⅰ-3	・居心地度調査分析				
	日ごろから、生徒の主体的な学びへの姿勢を育み、教員の授業改善につながる評価方法や学習内容・方法の研究を行います。	施策Ⅱ-8	・授業評価アンケートや学校評価アンケート、ICTに関するアンケート				
	授業改善と授業力向上に向けた教科会を主とする教職員の学びあいの文化の醸成、協働的な職場環境づくりを行い、校内研修を活性化します。	施策Ⅳ-26	・授業評価アンケート				
	効果的な公務を行うためにＩＣＴ機器を活用し、働き方改革を推進できるよう、校内研修や事例交流を行います。	施策Ⅳ-27	・ICTに関するアンケート				
学校経営	地域に本校の魅力ある姿を伝えるために、ホームページやSNSを積極的に利用して広報します。	施策Ⅰ-4	・SNS等を用いた情報発信の頻度				
	地域の一員、飛騨神岡高校の一員としての誇りが育まれるよう、COREハイスクール事業や連携型中高一貫教育事業、飛騨市学園構想等、地域との学びの充実を図ります。	施策Ⅰ-4	・学校評価アンケート				
	地域との学びで進路実現に向けての意識や学力を高めるため、地域の教育力を積極的に活用します。	施策Ⅱ-13	・実施後の生徒感想と講師の評価				
	地域に開かれた信頼された学校となるよう、学校運営協議会や育友会等の意見を積極的に取り入れます。	施策Ⅳ-20	・学校評価アンケート				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和9年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和9年 月 日